

子どもたちによるヘアカット (Haircuts by Children)

大人と子どもの関係性を問い直すプロジェクト



Photo by John Lauener

- 開催場所 : 東京ビューティーアート専門学校
- 開催期間 : 2017年2月18日(土)～26日(日)
- 主催 : アート&ソサイエティ研究センター
- 共催 : ワンダーアートプロダクション
- 協力 : 学校法人三幸学園(東京未来大学こどもみらい園／みらいフリースクール、東京ビューティーアート専門学校)
- 助成 : アーツカウンシル東京
- 後援 : カナダ大使館

特定非営利活動法人 アート&ソサイエティ研究センター

プロジェクト概要

《子どもたちによるヘアカット（Haircuts by Children）》は、総合ディレクターのダレン・オドネルを中心とするアート&リサーチ集団「ママリアン・ダイビング・リフレックス」が企画し、彼らが活動拠点を置くカナダをはじめ、世界各地で地域の学校や団体とコラボレーションしながら行っているプロジェクトです。

10～12歳の子どもたちが、プロの美容師の指導で、マネキンの長い髪を使い、髪の手切り方、カーリングの仕方などヘアスタイリングの技術や接客の仕方を研修します（2時間のワークショップ4回）。その後の週末、本物の美容室を借り、**大人の顧客に無料のヘアカット・サービス**をします。子どもたちには、サービスをした時間に応じて、なんらかの報酬が支払われます。

2006年のトロントをスタートに、これまでカナダ、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリアの35都市で、主に地域の芸術祭のプログラムとして実施されてきました。アジアで初めての開催地となる東京でも、ママリアン・ダイビング・リフレックスから招聘した専門のコーディネーターと日本人ファシリテーターが主導し、学校と美容師の協力を得て、“思いもよらない出会いの場”をつくり出していきたいと考えました。

今回、「ソーシャリー・エンゲイジド・アート展：社会を動かすアートの新潮流」の一環として東京で行う「子どもたちによるヘアカット」は、「東京未来大学こどもみらい園、みらいフリースクール」※（足立区）で学ぶ、10～14歳の子どもたちが、東京ビューティーアート専門学校（文京区）で研修を受け、同校の1階に新しくオープンするヘアサロンを「キッズ美容室」にして、お客様を迎えます。 ※こどもみらい園は、発達の問題を抱える子どもたち、フリースクールは、不登校で悩みを抱える子どもたちが学んでいます。

「苦手」なことに目が行きがち子どもたち、コミュニケーションに偏りのある子どもたちが、初対面の大人と対等な関係で、創造的なパフォーマンスを行うという、非常にチャレンジングな試みです。



Photo : 1. Pekka Mäkinens 2.5 courtesy of Mammalian Diving Reflex 3. John Lauener 4. Tyler Kuhn

ワークショップ・スケジュール

年 月 日	曜	時間		場所
		10:00 ~12:00	13:00 ~14:00	
2017/2/18	土	ワークショップ 1 (講義、デザイン画作成)	ワークショップ 2 (ヘアカット研修)	東京ビューティーアート専門学校
2017/2/19	日	ワークショップ 3 (ヘアカット研修)	ワークショップ 4 (ヘアカット研修)	東京ビューティーアート専門学校
2017/2/25	土	ワークショップ 5 (ヘアカット研修)		東京ビューティーアート専門学校
日時未定		振り返りワークショップ		こどもみらい園(予定)

パフォーマンス

年 月 日	曜	時間	場所
		12:00~16:00(ヘアカット実施時間)	
2017/2/26	日	約30人の大人に無料のヘアカット・サービス ホット・ココアの販売	東京ビューティーアート専門学校 1階サロン

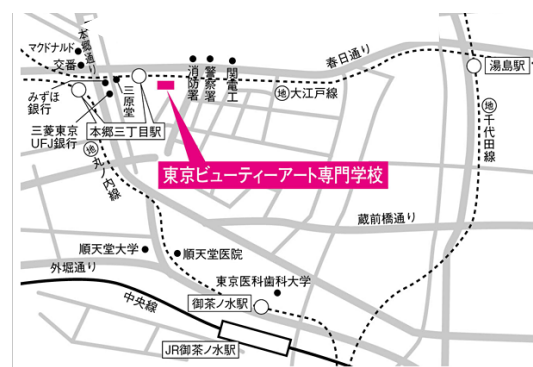
ダレン・オドネル (ママリアン・ダイビング・リフレックス創業者) レクチャー

2017/2/24(金) 19:00~21:00 アーツ千代田3331にて

※本プロジェクトに関するお問い合わせ: exhibition@art-society.com

ヘアカットご希望のお客様の予約受付中

- 実施日 2月26日(日)
- 時間 12:00から30分刻みで予約受付
最終予約15:30
- 場所 東京ビューティーアート専門学校1階サロン
(東京都文京区本郷3丁目37-8)
地下鉄丸の内線「本郷三丁目駅」より徒歩4分
都営大江戸線「本郷三丁目駅」5番出口より徒歩3分
地下鉄千代田線「湯島駅」3番出口より徒歩7分



- 募集数 30名(先着順)
- ご予約方法
アート&ソサイエティ研究センターまで、emailでお申し込みください。
宛先: info@art-society.com
件名に「ヘアカット」
本文に以下を明記してください。
①お名前
②ご住所
③ご年齢
④ご希望の時間(第一希望: 第二希望:)
⑤当日の連絡先電話番号/メールアドレス
- 受付次第、予約票と免責事項等同意書をお送りいたします。

プロジェクトのねらい

このプロジェクトのねらいは、「**クリエイティブなパフォーマンスを通じて、大人と子どもの関係性を問い直すこと**」です。

子どもたちには、**美的・創造的な決定のできる個人としての責任と自信を持たせ、大人たちには、従来の大人と子どもの力関係が逆転した非日常的な、ある種不安を感じるような体験により、子どもの能力を見直すきっかけを提供します**。創案者のダレン・オドネルはこのように言っています。

「多くの人は、このプロジェクトの目的を、子どもたちに自信をつけさせること (confident-building) だと理解しがちだが、それはあまり重要視していない。子どもの自信醸成にはさまざまな方法があり、これはその一つでしかないからだ。それよりも、大人と子どもの間にいつもと違ったコミュニケーションをつくりだすことにより、子どもたちに、自分が大人に対して主導権を握っていると感じさせたい」。

大人は子どもの髪をカットするのが当たり前、ではその逆は？ このプロジェクトではその当たり前の関係を逆転させてみようという意図があります。子どもたちにドキドキ、ワクワクする体験をしてもらいたい、そして大人と子どもが互いに尊敬できる関係づくりをめざしていきたいと考えています。



宣伝用のサインも子どもたちが手作り



ヘアデザインを考える子どもたちたち

Photo: courtesy of Mammalian Diving Reflex

なぜ私たちがこのプロジェクトに取り組むのか

現代の社会では、人と人の新たな関係性づくりが、さまざまな場面で求められています。

アートは、そのための革新的、創造的な方法と機会を提供することができると私たちは信じています。

カタリスト（触媒）の役割を果たすのがアーティストです。

親による子どもの虐待、教師による児童への暴力といった事件も相次いでいます。その背景には大人と子どもの関係性のひずみがあるのかもしれません。

私たちはこうした深刻化する子どもの問題に一つの視点を提供する「子どもたちによるヘアカット」プロジェクトに注目しました。日本人コーディネーターと共に、ソーシャリー・エンゲイジド・アート（SEA）に長年の経験を持つマリアン・ダイビング・リフレックスに学び、将来的に日本でのSEAの活動を成長させたいという期待も込めています。

ダレン・オドネルとママリアン・ダイビング・リフレックス

ママリアン・ダイビング・リフレックスは、1993年設立のアーティスト・コレクティブ。カナダのトロントを拠点に世界各地で活動。設立から2003年まではアーティストック・ディレクター、**ダレン・オドネル**の舞台パフォーマンスが中心でしたが、伝統的なヨーロッパ演劇の後進性や硬直性に限界を感じたオドネルは、アプローチの幅を広げ、学校やコミュニティセンター、市役所、老人ホーム、国際アート・フェスティバルなどとのコラボレーションで、“**社会の鍼治療 (Social Acupuncture)**”と称する、遊び心にあふれ、しかも挑発的な参加型パフォーマンスを行うようになりました。

たとえば、街を歩いて、“自分とはタイプが違う”と思う見知らぬ人に近づき会話する《Out of My League》、参加者がカードを引き、そこに書かれた“大胆な行動”をする《Dare Night》、子どもたちがアート・フェスティバルを鑑賞し、出展作品を評価して賞を与える《The Children's Choice Awards》、地元のティーンズとよそから来たティーンズが、地域の大人とともに夜の散歩をする《Nightwalks with Teenagers》など。どれも、人々はお互いにどのように関わり合えるかがテーマになっています。

ダレン・オドネルは、1965年カナダ、エドモントン生まれの作家、脚本家、パフォーマンス・アーティスト。2006年に著書『Social Acupuncture』を出版し、ママリアン・ダイビング・リフレックスの創造的方法論を確立した。

グループ名の**Mammalian Diving Reflex**（哺乳動物の潜水反射）は、人間が極度の身体的圧迫を受けたときの自己防衛テクニックを意味する。（たとえば、体が突然水に沈んだり、凍えるような寒さに襲われたとき、生き延びるためにできるだけ酸素の消費を抑えようと、全ての主要な身体機能がほとんど停止状態まで低下することがある）



Darren O'Donnell



Social Acupuncture